

地域学校協働連携NEWS

高清水ヒメサユリ・南郷刺し子絆纏展見学 ^{ばんてん} ～南会津中学校～

6月22日(木)、南会津中学校の高清水ヒメサユリ・南郷刺し子絆纏展見学を訪問しました。南会津中学校では、総合的な学習の時間において地域のことを知る学習を実施しています。今回は、毎年行っている高清水自然公園のヒメサユリ群生地(ひめさゆりボランティアガイドの協力)の見学に加え、奥会津博物館南郷館で開催されていた南郷刺し子絆纏展(南郷刺し子会の協力)も見学しました。

<ヒメサユリガイドの方>

これだけの財産があるので、たくさんの人に見に来てほしいです。なかなか個人で来ることはないので、ぜひ家庭で来てほしいです。

こういった機会があると後世に地域の財産を伝えられます。子供たちが来てくれるのが一番うれしいです。



<南会津中生徒>

- ・ヒメサユリは約10～14年で枯れてしまう。ヒメサユリ1本1本には他のヒメサユリが残した歴史があると感じた。
- ・ヒメサユリを守るために様々な工夫がされていることがわかった。
- ・ヒメサユリは準絶滅危惧種なので、これからも大切に守っていきたいです。
- ・またいける機会があれば行きたいです。

<南会津中教員>

自分たちが住んでいる地域にある美しく豊かな自然に触れることができました。身近な自然の素晴らしさを再認識できたと思います。今回の見学を通して、環境保全や地域活性についても考えていければと思います。

<南郷刺し子会の方>

今年、中学生に初めて来てもらいました。後世に残すために、子供たちに伝えたいと思っていました。

赤ちゃんに刺し子のベストをプレゼントしていますが、今日の子供たちがちょうどそれを始めた頃の子供たちでした。なつかしく、うれしいです。



地域の方々にとって、子供たちとの関わりは元気の源になっています。特に、今回刺し子会の方の「赤ちゃんの頃に関わったので…」という言葉がとても印象的でした。子供たちにとっても、自分と地域の関わりを感じるよい機会となったのではないのでしょうか。

また、地域の宝を後世に伝えるよい機会とも捉えているようです。地元の観光地に、あえて家庭で訪れるということは少ないのかもしれませんが、学校において、地域のよさを子供たちにどんどん味わわせてあげてほしいと思います。